

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 10 月 19 日 (2017.10.19)

【公開番号】特開 2016-58852 (P2016-58852A)

【公開日】平成 28 年 4 月 21 日 (2016.4.21)

【年通号数】公開・登録公報 2016-024

【出願番号】特願 2014-182835 (P2014-182835)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/238 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 15/03 (2006.01)

G 0 3 B 15/05 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/238 Z

G 0 3 B 15/00 Q

G 0 3 B 15/03 F

G 0 3 B 15/05

G 0 3 B 15/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 9 月 11 日 (2017.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段と、

継続的に発光可能な発光手段と、

前記撮像手段により動画像を撮像しているか静止画像を撮像しているかを判定する第 1 判定手段と、

前記撮像手段による動画像の撮像の際に、撮像画角内にヒトの顔を検出したか否かを判定する第 2 判定手段と、

前記第 1 判定手段により前記動画像を撮像していると判定され、且つ、前記第 2 判定手段によりヒトの顔を検出したと判定された場合に、相対的に低減させた発光強度で前記発光手段を継続的に発光させる制御手段と、

を備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記第 2 判定手段は、更に、前記撮像手段による前記動画像の撮像開始時に、撮像画角内にヒトの顔を検出したか否かを判定し、

前記制御手段は、前記第 1 判定手段により前記動画像を撮像していると判定され、且つ、前記第 2 判定手段によりヒトの顔を検出したと判定された場合に、前記撮像手段による前記動画像の撮像開始時に、相対的に低減させた前記発光手段の発光強度を決定し、決定された発光強度に基づいて前記動画像の撮像中に前記発光手段を継続的に発光させることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、更に、前記動画像の撮像中は、前記撮像手段による前記動画像の撮像開始時に決定された発光強度に固定して前記発光手段を継続的に発光させることを特徴と

する請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、更に、前記撮像手段により前記動画像の撮像を開始させる際に、当該動画像の撮像開始時に決定された発光強度で前記発光手段を発光させるとともに、前記動画像の撮像中は、前記第 2 判定手段による撮像画角内におけるヒトの顔の検出結果に応じて、前記発光手段の発光強度の変化度合が所定以下となるように発光強度を変化させつつ前記発光手段を継続的に発光させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

撮像モードが自分撮りモードであるか否かを判定する第 3 判定手段を更に備え、

前記制御手段は、前記第 1 判定手段により前記動画像を撮像していると判定され、且つ、前記第 2 判定手段によりヒトの顔を検出したと判定されるとともに、前記第 3 判定手段により前記自分撮りモードであると判定された場合に、相対的に低減させた発光強度で前記発光手段を継続的に発光させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

撮像手段と、継続的に発光可能な発光手段と、を備える撮像装置を用いた撮像方法であって、

前記撮像手段により動画像を撮像しているか静止画像を撮像しているかを判定する処理と、

前記撮像手段による動画像の撮像の際に、撮像画角内にヒトの顔を検出したか否かを判定する処理と、

前記動画像を撮像していると判定され、且つ、撮像画角内にヒトの顔を検出したと判定された場合に、相対的に低減させた発光強度で前記発光手段を継続的に発光させる処理と、

を含むことを特徴とする撮像方法。

【請求項 7】

撮像手段と、継続的に発光可能な発光手段と、を備える撮像装置が有するコンピュータを、

前記撮像手段により動画像を撮像しているか静止画像を撮像しているかを判定する第 1 判定手段、

前記撮像手段による動画像の撮像の際に、撮像画角内にヒトの顔を検出したか否かを判定する第 2 判定手段、

前記第 1 判定手段により前記動画像を撮像していると判定され、且つ、前記第 2 判定手段によりヒトの顔を検出したと判定された場合に、相対的に低減させた発光強度で前記発光手段を継続的に発光させる制御手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。